

学校コード F122210111877

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 大学院の設置

注1

認可

注2

静岡社会健康医学大学院大学

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学  
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務局 教務課
職名・氏名	キョウムシツチョウ 教務室長 ウメハラケンジ 梅原 建史
電話番号	054-295-5401
（夜間）	054-295-5401
e-mail	kyomu@s-sph.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 社会健康医学研究科

＜社会健康医学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学

## (2) 大学名

静岡社会健康医学大学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒420-0881

静岡県静岡市葵区北安東4-27-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミヤチ ヨシキ) 宮地 良樹 (令和3年4月)		
学長	(ミヤチ ヨシキ) 宮地 良樹 (令和3年4月)		
研究科長	(タバラ ヤスハル) 田原 康玄 (令和3年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)  
令和4年度に報告する内容 → (4)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 修士（社会健康医学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリ）	2 年	10 人	— 年次 人	20 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 10 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 10 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]			
志願者数	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	47 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	35 ( ) [ ]	- ( ) [ ]			
受験者数	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	47 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	35 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	1.75倍	- 倍	
合格者数	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	19 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	16 ( ) [ ]	- ( ) [ ]			
B 入学者数	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	- ( ) [ ]	19 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	16 ( ) [ ]	- ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		1.90		1.60				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	19 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	16 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	/		19 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次	/		/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次	/		/		/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	19 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	35 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	19 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	35 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】  

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \text{\#VALUE!} \%$$
数式が入力されています。

【令和元年度】  

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \text{\#VALUE!} \%$$
数式が入力されています。

【令和2年度】  

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \text{\#VALUE!} \%$$
数式が入力されています。

【令和3年度】  

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{19} = 0 \%$$
数式が入力されています。

【令和4年度】  

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{35} = 0 \%$$
数式が入力されています。

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<社会健康医学研究科 社会健康医学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	社会健康医学概論	1前	2			6					2
	公衆衛生危機管理論	1後		2		1	2				1
	基礎医学講座	1前		1		2					
	高齢者ケア概論	1前		1		1	1				1
	公的統計活用法	1後		1		1					
	文献検索法・文献評価法	1前		1				1			
	プレゼンテーション・ライティングスキル	1前		1			1	1			
	小計(7科目)	—	5	4	0	7	5	1	0	0	4
疫学領域	疫学概論	1前	1			1	1				
	疫学研究・臨床研究特論	1後		1		1					
	臨床研究概論	1前	1			1	1				
	疫学・ゲノム疫学特論	1後		1		3					1
	小計(4科目)	—	2	2	0	4	1	0	0	0	1
医療統計学領域	医療統計学概論	1前	2			1	1				
	医療統計学特論	1後		2		1	1				
	臨床試験解析学	2前		1		1	1				
	観察研究解析学	2前		1		1	1				
	小計(4科目)	—	2	4	0	0	1	1	0	0	0
環境健康科学領域	環境健康科学・産業衛生学概論	1前	2			1					1
	環境健康科学・産業衛生学特論	1後		1		1					1
	生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境)	1後		1		3	1				
	小計(3科目)	—	2	2	0	3	2	0	0	0	2
	行動医学・ヘルスコミュニケーション学領域	健康情報学	1後		1		1	1			
ヘルスコミュニケーション概論		1前		1		1					
ヘルスコミュニケーション特論		2前		1		1					
行動医科学		1前		1		1	1				
健康医療社会学		1後		2		1					
小計(5科目)		—	2	4	0	2	2	0	0	0	1
健康管理・政策学領域	健康・医療ビッグデータ概論	1前	1			1					5
	健康・医療ビッグデータ特論	2前		1		1	1				
	健康政策・医療経済学概論	1前		1		1					1
	健康政策・医療経済学特論	2前		1		1					1
	社会健康医学倫理概論	1前		1		1		1			1
	社会健康医学倫理特論	2前		1		1		1			1
	小計(6科目)	—	3	3	0	2	1	2	0	0	7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	社会健康医学概論	1前	2			6					2
	公衆衛生危機管理論	1後		2		1	2				1
	基礎医学講座	1前		1		2					
	高齢者ケア概論	1前		1		1	1				1
	公的統計活用法	1後		1		1					
	文献検索法・文献評価法	1前		1				1			
	プレゼンテーション・ライティングスキル	1前		1			1	1			
	小計(7科目)	—	5	4	0	7	5	1	0	0	4
疫学領域	疫学概論	1前	1			1	1				
	疫学研究・臨床研究特論	1後		1		1					
	臨床研究概論	1後	1			1	1				
	疫学・ゲノム疫学特論	1後		1		3					1
	小計(4科目)	—	2	2	0	4	1	0	0	0	1
医療統計学領域	医療統計学概論	1前	2			1	1				
	医療統計学特論	1後		2		1	1				
	臨床試験解析学	2前		1		1	1				
	観察研究解析学	2前		1		1	1				
	小計(4科目)	—	2	4	0	0	1	1	0	0	0
環境健康科学領域	環境健康科学・産業衛生学概論	1前	2			1					1
	環境健康科学・産業衛生学特論	1後		1		1					1
	生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境)	1後		1		3	1				
	小計(3科目)	—	2	2	0	3	2	0	0	0	2
	行動医学・ヘルスコミュニケーション学領域	健康情報学	1前		1		1	1			
ヘルスコミュニケーション概論		1前		1		1					
ヘルスコミュニケーション特論		2前		1		1					
行動医科学		1前		1		1	1				
健康医療社会学		1後		2		1					
小計(5科目)		—	2	4	0	2	2	0	0	0	1
健康管理・政策学領域	健康・医療ビッグデータ概論	1前	1			1					5
	健康・医療ビッグデータ特論	2前		1		1	1				
	健康政策・医療経済学概論	1前		1		1					1
	健康政策・医療経済学特論	2前		1		1					1
	社会健康医学倫理概論	1前		1		1		1			1
	社会健康医学倫理特論	2前		1		1		1			1
	小計(6科目)	—	3	3	0	2	1	2	0	0	7

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
ゲノム 医学 科目	医科遺伝学概論	1前	1			3					1
	医科遺伝学特論	1後		1		3					1
	遺伝カウンセリング	1後		1		1					
	遺伝カウンセリング実習	2前		1		1					
	ゲノム医学(疾患と遺伝子)	2前		1		2					
	小計(5科目)	—	1	4	0	4	0	0	0	0	1
発 展 科 目	フィールド実習	2前		1		2	1				
	死生学	2前		1		1					
	社会健康医学における質的研究法	1後		1		1	1				
	社会健康医学における混合研究法	2前		1				1			
	精神保健学概論・心理社会的支援技術論	2前		1			1				
	医療・ケア組織論	2前		1		1	1				
	高齢者ケア特論	2前		1		1					1
	高齢者運動・リハビリテーション論	2前		1		1					
	聴覚コミュニケーション学概論	1後			1	1					1
	聴覚コミュニケーション学特論	1後			1	1					1
	小児聴覚評価法	2前			1	1					1
	脳の発達と聴覚	2前			1	1		1			
	小児難聴マネジメント	2前			1	1					1
	老年オーディオロジー	2前			1						1
	小計(14科目)	—	0	8	6	4	3	3	0	0	3
特 別 研 究	修士論文	1後~2		8		10	6	3			
	課題研究	1後~2		4		10	6	3			
	小計(2科目)	—	0	12	0	10	6	3	0	0	0
	合計(50科目)	—	17	43	6	11	6	4	0	0	16
卒業要件及び履修方法											
①以下のとおり42単位以上を修得すること。 ・修士論文選択者:必修科目17単位、特別研究(修士論文)8単位、 その他選択科目から17単位以上 ・課題研究選択者:必修科目17単位、特別研究(課題研究)4単位、 その他選択科目から21単位以上 ②原則として2年以上在学し、所定の単位数を修得するとともに、必要な研究指導を受け、修士論文もしくは課題研究の審査に合格すること。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
ゲノム 医学 科目	医科遺伝学概論	1前	1			3					1
	医科遺伝学特論	1後		1		3					1
	遺伝カウンセリング	1後		1		1					
	遺伝カウンセリング実習	2前		1		1					
	ゲノム医学(疾患と遺伝子)	2前		1		2					
	小計(5科目)	—	1	4	0	4	0	0	0	0	1
発 展 科 目	フィールド実習	2前		1		2	1				
	死生学	2前		1		1					
	社会健康医学における質的研究法	1後		1		1	1				
	社会健康医学における混合研究法	2前		1				1			
	精神保健学概論・心理社会的支援技術論	2前		1			1				
	医療・ケア組織論	2前		1		1	1				
	高齢者ケア特論	2前		1		1					1
	高齢者運動・リハビリテーション論	2前		1		1					
	聴覚コミュニケーション学概論	1後			1	1					1
	聴覚コミュニケーション学特論	1後			1	1					1
	小児聴覚評価法	2前			1	1					1
	脳の発達と聴覚	2前			1	1		1			
	小児難聴マネジメント	2前			1	1					1
	老年オーディオロジー	2前			1						1
	小計(14科目)	—	0	8	6	4	3	3	0	0	3
特 別 研 究	修士論文	1後~2		8		10	6	3			
	課題研究	1後~2		4		10	6	3			
	小計(2科目)	—	0	12	0	10	6	3	0	0	0
	合計(50科目)	—	17	43	6	11	6	4	0	0	16
卒業要件及び履修方法											
①以下のとおり42単位以上を修得すること。 ・修士論文選択者:必修科目17単位、特別研究(修士論文)8単位、 その他選択科目から17単位以上 ・課題研究選択者:必修科目17単位、特別研究(課題研究)4単位、 その他選択科目から21単位以上 ②原則として2年以上在学し、所定の単位数を修得するとともに、必要な研究指導を受け、修士論文もしくは課題研究の審査に合格すること。											



【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	社会健康医学概論	1前	2			6						2
	公衆衛生危機管理論	1後		2		1	2					1
	基礎医学講座	1前		1		2						
	高齢者ケア概論	1前	1			1	1					1
	公的統計活用法	1後		1			1					
	文献検索法・文献評価法	1前	1					1				
	プレゼンテーション・ライティングスキル	1前	1				1	1				
	小計(7科目)	—	5	4	0	7	5	1	0	0	0	4
公衆衛生学科目	疫学領域	疫学概論	1前	1			1	1				
		疫学研究・臨床研究特論	1後		1		1					
		臨床研究概論	1前	1			1	1				
		疫学・ゲノム疫学特論	1後		1		3					1
		小計(4科目)	—	2	2	0	4	1	0	0	0	1
	医療統計学領域	医療統計学概論	1前	2				1	1			
		医療統計学特論	1後		2			1	1			
		臨床試験解析学	2前		1			1	1			
		観察研究解析学	2前		1			1	1			
		小計(4科目)	—	2	4	0	0	1	1	0	0	0
	環境健康科学領域	環境健康科学・産業衛生学概論	1前	2				1				1
		環境健康科学・産業衛生学特論	1後		1			1				1
		生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境)	1後		1		3	1				
		小計(3科目)	—	2	2	0	3	2	0	0	0	2
	行動医学・ヘルソロジー領域	健康情報学	1後		1		1	1				1
		ヘルスコミュニケーション概論	1前		1		1					
ヘルスコミュニケーション特論		2前		1			1					
行動医学		1前		1		1	1					
健康医療社会学		1後		2		1						
小計(5科目)		—	2	4	0	2	2	0	0	0	1	
健康管理・政策学領域	健康・医療ビッグデータ概論	1前	1			1					5	
	健康・医療ビッグデータ特論	2前		1			1	1				
	健康政策・医療経済学概論	1前	1			1					1	
	健康政策・医療経済学特論	2前		1		1					1	
	社会健康医学倫理概論	1前	1			1		1			1	
	社会健康医学倫理特論	2前		1		1		1			1	
	小計(6科目)	—	3	3	0	2	1	2	0	0	7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ゲノム医学科目	医科遺伝学概論	1前	1			3						1
	医科遺伝学特論	1後		1		3						1
	遺伝カウンセリング	1後		1		1						
	遺伝カウンセリング実習	2前		1		1						
	ゲノム医学(疾患と遺伝子)	2前		1		2						
	小計(5科目)	—	1	4	0	4	0	0	0	0	0	1
発展科目	フィールド実習	2前		1		2	1					
	死生学	2前		1		1						
	社会健康医学における質的研究法	1後		1		1	1					
	社会健康医学における混合研究法	2前		1				1				
	精神保健学概論・心理社会的支援技術論	2前		1			1					
	医療・ケア組織論	2前		1			1	1				
	高齢者ケア特論	2前		1			1					1
	高齢者運動・リハビリテーション論	2前		1			1					
	聴覚コミュニケーション学概論	1後			1	1						1
	聴覚コミュニケーション学特論	1後			1	1						1
	小児聴覚評価法	2前			1	1						1
	脳の発達と聴覚	2前			1	1		1				
	小児難聴マネジメント	2前			1	1						1
	老年オーディオロジー	2前			1							1
	小計(14科目)	—	0	8	6	4	3	3	0	0	0	3
特別研究	修士論文	1後~2		8		10	6	3				
	課題研究	1後~2		4		10	6	3				
	小計(2科目)	—	0	12	0	10	6	3	0	0	0	0
合計(50科目)		—	17	43	6	11	6	4	0	0	0	16
卒業要件及び履修方法												
①以下のとおり42単位以上を修得すること。 ・修士論文選択者:必修科目17単位、特別研究(修士論文)8単位、 その他選択科目から17単位以上 ・課題研究選択者:必修科目17単位、特別研究(課題研究)4単位、 その他選択科目から21単位以上 ②原則として2年以上在学し、所定の単位数を修得するとともに、必要な研究指導を受け、修士論文もしくは課題研究の審査に合格すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

特になし。

**【令和4年度】**

・同時期の履修科目とのバランスを考慮し、「臨床研究概論」の配当年次を「1前」から「1後」に、「健康情報学」を「1後」から「1前」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	30 科目	6 科目	50 科目	14 科目 [ 0 ]	30 科目 [ 0 ]	6 科目 [ 0 ]	50 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 該当なし
--------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{50} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考						
(1) 校 舎 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地は静岡県から出資を 受けたが、大学用地として 不用品の一部敷地につい ては県所有のままとした ため、当初予定から減少 (3)						
	校 舎 敷 地	9,872.89㎡ <del>10,099.71㎡</del>	- ㎡	- ㎡	9,872.89㎡ <del>10,099.71㎡</del>							
	運 動 場 用 地	- ㎡	- ㎡	- ㎡	- ㎡							
	小 計	9,872.89㎡ <del>10,099.71㎡</del>	- ㎡	- ㎡	9,872.89㎡ <del>10,099.71㎡</del>							
	そ の 他	1,642.18 ㎡	- ㎡	- ㎡	1,642.18 ㎡							
合 計	11,515.07㎡ <del>11,741.89㎡</del>	- ㎡	- ㎡	11,515.07㎡ <del>11,741.89㎡</del>								
(2) 校 舎	専 用	9,209 ㎡ <del>9,238 ㎡</del>	- ㎡	- ㎡	9,209 ㎡ <del>9,238 ㎡</del>	専用：全面供用開始した ための増加(4) 共用：全面供用開始に伴 い静岡県立総合病院を退 去したため減少(4) 専用：実施設計後に実面 積が確定したため増減 (3) 共用：当初供用予定で あった静岡県立総合病院 リサーチセンターの一部を 不使用としたことから減 少(3) 【開学初年度】 静岡県立総合病院リサーチ センター 共用面積：2,225㎡ 2,190㎡(3) 共用期間：1年						
	(9,209 ㎡) (3,585 ㎡) (-3,563 ㎡)	(- ㎡) (2,190 ㎡) (-2,225 ㎡)	(- ㎡) (- ㎡)	(9,209 ㎡) (5,775 ㎡) (-5,788 ㎡)								
(3) 教 室 等	講 義 室	3室 4室	演 習 室	6室	実験実習室	- 室	情報処理学習施設	- 室	語学学習施設	- 室	講義室は、実施設計時に 設計変更が生じ、小講義 室1室が減少したが、演 習室でも講義形式の授業 が実施可能であること、 および選択科目開講時に 複数授業が開講される際 にも、室数および広さ・ 収容人数上、十分な講室 を有していることから、 教育実施に影響はない (3)	
						(補助職員 - 人)		(補助職員 - 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数								
	社会健康医学研究科 社会健康医学専攻			24		室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点					
	社会健康医学研究科 社会健康医学専攻	[224] <del>1,257 (236)</del> 1,200 (360)	8,790 [2,428] 4,518 (3,030)	8,790 [2,428] 4,518 (3,030)	0	0	0	図書等の購入に当たり、 専任教員から改めて必要 図書及び学術雑誌を聞き 取ったうえ、選書・購入 したため外国書冊数が一 部減少(4)				
	計	(1,157 (194)) <del>(1,057 (176))</del> (1,000 (300))	(8,790 [2,428]) (4,518 (3,030))	(8,790 [2,428]) (4,518 (3,030))	( 0 )	( 0 )	( 0 )	図書等の購入に当たり、 専任教員から改めて必要 図書及び学術雑誌を聞き 取ったうえ、選書・購入 したため総冊数は増加、 外国書は一部減少(3)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数							
	275.50㎡		24席		30,000冊							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要									
	- ㎡		該当なし									
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度					
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	980千円 971千円	971千円	図書購入費	7,595千円 10,000千円	26,899千円 30,000千円	30,000千円	図書購入費、設備購入 費：開設年度は実績額に 置き換え(4) 開設前年度は決算額、開 設年度及び完成年度は最 新の予算額に置き換え (3)			
		共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	93,610千円 100,000千円	221,658千円 223,743千円 200,000千円	15,000千円 10,000千円	研究費：予算額(費目)の 増加にて若干増加(3) 図書購入費：購入時に再 見積、費用削減を図り減 少、購入書籍及び冊数等 は申請時より増加(3) 設備購入費：年次毎の必 要設備を精査し、年度毎 に増減(3)			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	県内677千円 県外903千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		授業料、入学金、入学検定料、その他特定財源により維持運営し、不足する部分については、静岡県からの運営費交付金を充当する。										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校舎等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	静岡社会健康医学大学院大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	正興変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
社会健康医学研究科 社会健康医学専攻 (修士課程)	2	10	-	20	修士 (社会健康医学)	1.75	1.60	-	令和3	静岡市葵区北安東4-27-2	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。  
 ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



## 5 教員組織の状況

<社会健康医学研究科 社会健康医学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学長)	宮地 良樹 (69) <令和3年4月> 医学博士
		社会健康医学概論 ※
専	教授(研究科長)	田原 康玄 (51) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 疫学研究・臨床研究特論 疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ フィールド実習 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	高木 明 (68) <令和3年4月> 医学博士
		聴覚コミュニケーション学概論 ※ 聴覚コミュニケーション学特論 ※ 小児聴覚評価法 ※ 脳の発達と聴覚 ※ 小児難聴マネジメント ※ 修士論文 課題研究
専	教授	菅原 照 (65) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 基礎医学講座 ※ 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 修士論文 課題研究
専	教授	臼井 健 (63) <令和3年4月> 医学博士
		生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ 遺伝カウンセリング 遺伝カウンセリング実習 ゲノム医学(疾患と遺伝子) ※ 修士論文 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学長)	宮地 良樹 (69) <令和3年4月> 医学博士
		社会健康医学概論 ※
専	教授(研究科長)	田原 康玄 (51) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 疫学研究・臨床研究特論 疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ フィールド実習 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	高木 明 (69) <令和3年4月> 医学博士
		聴覚コミュニケーション学概論 ※ 聴覚コミュニケーション学特論 ※ 小児聴覚評価法 ※ 脳の発達と聴覚 ※ 小児難聴マネジメント ※ 修士論文 課題研究
専	教授	菅原 照 (65) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 基礎医学講座 ※ 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 修士論文 課題研究
専	教授	臼井 健 (63) <令和3年4月> 医学博士
		生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ 遺伝カウンセリング 遺伝カウンセリング実習 ゲノム医学(疾患と遺伝子) ※ 修士論文 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学長)	宮地 良樹 (70) <令和3年4月> 医学博士
		社会健康医学概論 ※
専	教授(研究科長)	田原 康玄 (52) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 疫学研究・臨床研究特論 疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ フィールド実習 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	高木 明 (70) <令和3年4月> 医学博士
		聴覚コミュニケーション学概論 ※ 聴覚コミュニケーション学特論 ※ 小児聴覚評価法 ※ 脳の発達と聴覚 ※ 小児難聴マネジメント ※ 修士論文 課題研究
専	教授	菅原 照 (66) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 基礎医学講座 ※ 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 修士論文 課題研究
専	教授	臼井 健 (64) <令和3年4月> 医学博士
		生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ 遺伝カウンセリング 遺伝カウンセリング実習 ゲノム医学(疾患と遺伝子) ※ 修士論文 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小島原 典子 (57) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 公衆衛生危機管理論 ※ 疫学概論 ※ 臨床研究概論 ※ フィールド実習 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	森 潔 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		基礎医学講座 ※ 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ ゲノム医学(疾患と遺伝子) ※ 修士論文 課題研究
専	教授	栗山 長門 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 高齢者ケア概論 ※ 疫学・ゲノム疫学特論 ※ 健康・医療ビッグデータ概論 ※ 健康政策・医療経済学概論 ※ 健康政策・医療経済学特論 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	木下 和生 (54) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	山本 精一郎 (53) ＜令和3年10月＞ 博士(保健学)
		社会健康医学概論 ※ 健康情報学 ※ ヘルスコミュニケーション概論 行動医科学 ※ 修士論文 課題研究
兼任	講師	山本 精一郎 (53) ＜令和3年6月＞ 博士(保健学)
		社会健康医学概論 ※ ヘルスコミュニケーション概論 行動医科学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小島原 典子 (57) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 公衆衛生危機管理論 ※ 疫学概論 ※ 臨床研究概論 ※ フィールド実習 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	森 潔 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		基礎医学講座 ※ 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ ゲノム医学(疾患と遺伝子) ※ 修士論文 課題研究
専	教授	栗山 長門 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 高齢者ケア概論 ※ 疫学・ゲノム疫学特論 ※ 健康・医療ビッグデータ概論 ※ 健康政策・医療経済学概論 ※ 健康政策・医療経済学特論 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	木下 和生 (54) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	山本 精一郎 (53) ＜令和3年10月＞ 博士(保健学)
		社会健康医学概論 ※ 健康情報学 ※ ヘルスコミュニケーション概論 行動医科学 ※ 修士論文 課題研究
兼任	講師	山本 精一郎 (52) ＜令和3年6月＞ 博士(保健学)
		社会健康医学概論 ※ ヘルスコミュニケーション概論 行動医科学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小島原 典子 (58) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 公衆衛生危機管理論 ※ 疫学概論 ※ 臨床研究概論 ※ フィールド実習 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	森 潔 (56) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		基礎医学講座 ※ 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ ゲノム医学(疾患と遺伝子) ※ 修士論文 課題研究
専	教授	栗山 長門 (56) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 高齢者ケア概論 ※ 疫学・ゲノム疫学特論 ※ 健康・医療ビッグデータ概論 ※ 健康政策・医療経済学概論 ※ 健康政策・医療経済学特論 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	木下 和生 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※ 修士論文 課題研究
専	教授	山本 精一郎 (54) ＜令和3年10月＞ 博士(保健学)
		社会健康医学概論 ※ 健康情報学 ※ ヘルスコミュニケーション概論 行動医科学 ※ 修士論文 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山崎 浩司 (50) <令和3年4月> 博士(人間・環境学)
		健康医療社会学 社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※ 死生学 社会健康医学における質的研究法 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	天笠 崇 (60) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		公衆衛生危機管理論 ※ 環境健康科学・産業衛生学概論 ※ 環境健康科学・産業衛生学特論 ※ 行動医科学 ※ 精神保健学概論・心理社会的支援技術論 医療・ケア組織論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	森 寛子 (59) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		高齢者ケア概論 ※ フィールド実習 ※ 社会健康医学における質的研究法 ※ 高齢者ケア特論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	佐藤 康仁 (54) <令和3年4月> 博士(医学)
		公的統計活用法 疫学概論 ※ 臨床研究概論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	溝田 友里 (47) <令和4年9月> 博士(保健学)
		公衆衛生危機管理論 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 健康情報学 ※ ヘルスコミュニケーション特論 修士論文 課題研究
兼任	講師	溝田 友里 (47) <令和3年9月> 博士(保健学)
		公衆衛生危機管理論 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 健康情報学 ※ ヘルスコミュニケーション特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山崎 浩司 (50) <令和3年4月> 博士(人間・環境学)
		健康医療社会学 社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※ 死生学 社会健康医学における質的研究法 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	天笠 崇 (60) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		公衆衛生危機管理論 ※ 環境健康科学・産業衛生学概論 ※ 環境健康科学・産業衛生学特論 ※ 行動医科学 ※ 精神保健学概論・心理社会的支援技術論 医療・ケア組織論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	森 寛子 (59) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		高齢者ケア概論 ※ フィールド実習 ※ 社会健康医学における質的研究法 ※ 高齢者ケア特論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	佐藤 康仁 (54) <令和3年4月> 博士(医学)
		公的統計活用法 疫学概論 ※ 臨床研究概論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	溝田 友里 (47) <令和4年9月> 博士(保健学)
		公衆衛生危機管理論 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 健康情報学 ※ ヘルスコミュニケーション特論 修士論文 課題研究
兼任	講師	溝田 友里 (47) <令和3年9月> 博士(保健学)
		公衆衛生危機管理論 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 健康情報学 ※ ヘルスコミュニケーション特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山崎 浩司 (51) <令和3年4月> 博士(人間・環境学)
		健康医療社会学 社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※ 死生学 社会健康医学における質的研究法 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	天笠 崇 (61) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		公衆衛生危機管理論 ※ 環境健康科学・産業衛生学概論 ※ 環境健康科学・産業衛生学特論 ※ 行動医科学 ※ 精神保健学概論・心理社会的支援技術論 医療・ケア組織論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	森 寛子 (60) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		高齢者ケア概論 ※ フィールド実習 ※ 社会健康医学における質的研究法 ※ 高齢者ケア特論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	佐藤 康仁 (55) <令和3年4月> 博士(医学)
		公的統計活用法 疫学概論 ※ 臨床研究概論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	溝田 友里 (48) <b>&lt;令和4年4月&gt;</b> 博士(保健学)
		公衆衛生危機管理論 生活習慣病(生活習慣・遺伝子・環境) ※ 健康情報学 ※ ヘルスコミュニケーション特論 修士論文 課題研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中谷 英仁 (38) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療統計学概論 ※ 医療統計学特論 ※ 臨床試験解析学 ※ 観察研究解析学 ※ 健康・医療ビッグデータ特論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	藤本 修平 (36) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		プレゼンテーション・ライティングスキル ※ 高齢者運動・リハビリテーション論 修士論文 課題研究
専	講師	Fehérvári Tamás Dávid (44) <令和3年4月> 博士(工学)
		脳の発達と聴覚 ※
専	講師	佐々木 八十子 (41) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		文献検索法・文献評価法 プレゼンテーション・ライティングスキル ※ 医療・ケア組織論 ※ 修士論文 課題研究
専	講師	八田 太一 (41) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※ 社会健康医学における混合研究法 修士論文 課題研究
専	講師	佐藤 洋子 (36) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療統計学概論 ※ 医療統計学特論 ※ 臨床試験解析学 ※ 観察研究解析学 ※ 健康・医療ビッグデータ特論 ※ 修士論文 課題研究
兼任	講師	中山 健夫 (59) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 健康情報学 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中谷 英仁 (38) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療統計学概論 ※ 医療統計学特論 ※ 臨床試験解析学 ※ 観察研究解析学 ※ 健康・医療ビッグデータ特論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	藤本 修平 (36) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		プレゼンテーション・ライティングスキル ※ 高齢者運動・リハビリテーション論 修士論文 課題研究
専	講師	Fehérvári Tamás Dávid (45) <令和3年4月> 博士(工学)
		脳の発達と聴覚 ※
専	講師	佐々木 八十子 (41) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		文献検索法・文献評価法 プレゼンテーション・ライティングスキル ※ 医療・ケア組織論 ※ 修士論文 課題研究
専	講師	八田 太一 (41) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※ 社会健康医学における混合研究法 修士論文 課題研究
専	講師	佐藤 洋子 (36) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療統計学概論 ※ 医療統計学特論 ※ 臨床試験解析学 ※ 観察研究解析学 ※ 健康・医療ビッグデータ特論 ※ 修士論文 課題研究
兼任	講師	中山 健夫 (60) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 健康情報学 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中谷 英仁 (39) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療統計学概論 ※ 医療統計学特論 ※ 臨床試験解析学 ※ 観察研究解析学 ※ 健康・医療ビッグデータ特論 ※ 修士論文 課題研究
専	准教授	藤本 修平 (37) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		プレゼンテーション・ライティングスキル ※ 高齢者運動・リハビリテーション論 修士論文 課題研究
専	講師	Fehérvári Tamás Dávid (46) <令和3年4月> 博士(工学)
		脳の発達と聴覚 ※
専	講師	佐々木 八十子 (42) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		文献検索法・文献評価法 プレゼンテーション・ライティングスキル ※ 医療・ケア組織論 ※ 修士論文 課題研究
専	講師	八田 太一 (42) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※ 社会健康医学における混合研究法 修士論文 課題研究
専	講師	佐藤 洋子 (37) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療統計学概論 ※ 医療統計学特論 ※ 臨床試験解析学 ※ 観察研究解析学 ※ 健康・医療ビッグデータ特論 ※ 修士論文 課題研究
兼任	講師	中山 健夫 (61) <令和3年4月> 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※ 健康情報学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長谷川 敏彦 (73) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※
兼任	講師	谷 晃 (75) ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		公衆衛生危機管理論 ※
兼任	講師	小林 美亜 (48) ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(アメリカ合衆国)
		高齢者ケア概論 ※ 高齢者ケア特論 ※
兼任	講師	寺尾 知可史 (41) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※
兼任	講師	谷 幸則 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境健康科学・産業衛生学概論 ※
兼任	講師	雨谷 敬史 (57) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境健康科学・産業衛生学特論 ※
兼任	講師	山本 博之 (43) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	一原 直昭 (47) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	平原 憲道 (49) ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長谷川 敏彦 (73) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※
兼任	講師	谷 晃 (75) ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		公衆衛生危機管理論 ※
兼任	講師	小林 美亜 (49) ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(アメリカ合衆国)
		高齢者ケア概論 ※ 高齢者ケア特論 ※
兼任	講師	寺尾 知可史 (42) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※
兼任	講師	谷 幸則 (54) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境健康科学・産業衛生学概論 ※
兼任	講師	雨谷 敬史 (58) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境健康科学・産業衛生学特論 ※
兼任	講師	山本 博之 (43) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	一原 直昭 (47) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	平原 憲道 (50) ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長谷川 敏彦 (74) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会健康医学概論 ※
兼任	講師	谷 晃 (76) ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		公衆衛生危機管理論 ※
兼任	講師	小林 美亜 (50) ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(アメリカ合衆国)
		高齢者ケア概論 ※ 高齢者ケア特論 ※
兼任	講師	寺尾 知可史 (43) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		疫学・ゲノム疫学特論 ※ 医科遺伝学概論 ※ 医科遺伝学特論 ※
兼任	講師	谷 幸則 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境健康科学・産業衛生学概論 ※
兼任	講師	雨谷 敬史 (59) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境健康科学・産業衛生学特論 ※
兼任	講師	山本 博之 (44) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	一原 直昭 (48) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	平原 憲道 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	隈丸 拓 (41) <令和3年4月> Doctor of Science in Epidemiology (アメリカ合衆国)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	宮田 裕章 (42) <令和3年4月> 博士(保健学)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	後藤 励 (48) <令和3年4月> 博士(経済学)
		健康政策・医療経済学概論 ※ 健康政策・医療経済学特論 ※
兼任	講師	藤田 みさお (51) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※
兼任	講師	Hollowell Jason (51) <令和3年4月> Master of Second Language Studies (アメリカ合衆国)
		聴覚コミュニケーション学概論 ※
兼任	講師	田中 智英巳 (53) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ合衆国)
		聴覚コミュニケーション学特論 ※ 小児聴覚評価法 ※ 小児難聴マネジメント ※ 老年オーディオロジー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	隈丸 拓 (41) <令和3年4月> Doctor of Science in Epidemiology (アメリカ合衆国)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	宮田 裕章 (43) <令和3年4月> 博士(保健学)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	後藤 励 (49) <令和3年4月> 博士(経済学)
		健康政策・医療経済学概論 ※ 健康政策・医療経済学特論 ※
兼任	講師	藤田 みさお (52) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※
兼任	講師	Hollowell Jason (51) <令和3年4月> Master of Second Language Studies (アメリカ合衆国)
		聴覚コミュニケーション学概論 ※
兼任	講師	田中 智英巳 (54) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ合衆国)
		聴覚コミュニケーション学特論 ※ 小児聴覚評価法 ※ 小児難聴マネジメント ※ 老年オーディオロジー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	隈丸 拓 (42) <令和3年4月> Doctor of Science in Epidemiology (アメリカ合衆国)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	野村 周平 (35) <令和4年4月> Doctor of Philosophy in Epidemiology and Biostatistics (英国)
		健康・医療ビッグデータ概論 ※
兼任	講師	後藤 励 (50) <令和3年4月> 博士(経済学)
		健康政策・医療経済学概論 ※ 健康政策・医療経済学特論 ※
兼任	講師	藤田 みさお (53) <令和3年4月> 博士(社会健康医学)
		社会健康医学倫理概論 ※ 社会健康医学倫理特論 ※
兼任	講師	Hollowell Jason (52) <令和3年4月> Master of Second Language Studies (アメリカ合衆国)
		聴覚コミュニケーション学概論 ※
兼任	講師	田中 智英巳 (55) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ合衆国)
		聴覚コミュニケーション学特論 ※ 小児聴覚評価法 ※ 小児難聴マネジメント ※ 老年オーディオロジー

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

特になし。
-------

【令和4年度】

・ 溝田友里准教授の就任時期について、令和4年9月から令和4年4月へと変更。(予定より早く専任教員として就任することが可能となったため。) ・ 宮田裕章兼任講師辞任により、野村周平兼任講師に変更。
---

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **既設で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
11	6	4	0	21	0	11	6	4	0	21	0
(10)	(5)	(4)	(0)	(19)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
19	0	2				19	0	2			
(17)	(0)	(2)	/			(17)	(0)	(2)	/		
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
11	6	4	0	21	0	11	6	4	0	21	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
19	0	2				19	0	2			
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	/			[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	/		
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、既に設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{21}{21} = 100\%$$

数式が入力されています。

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{3}{21} = 14.28\%$$

数式が入力されています。

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \#DIV/0!\%$$

数式が入力されています。

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1				必修						
				選択						
				必修						
2				自由						
				必修						
				必修						
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1				必修						
				選択						
				必修						
2				自由						
				必修						
				必修						
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{21} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1			必修								
			選択								
			必修								
2			自由								
			必修								
			必修								
合計						後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人		必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
			選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
			自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和2年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。さらに、大学院大学を設置できるのは、教育研究上特別の必要がある場合とされていることに照らし、その必要性を十分に踏まえた教育研究活動及び大学運営に留意すること。	<p>遵守事項</p> <p>開学初年度に当たる令和3年度入試では、19名が合格・入学した。完成年度である令和4年度は16名が合格・入学した。</p> <p>選考基準により定員を上回る入学者数となったが、教育面では、令和4年度当初から21名の専任教員を配置しており、定員を超える学生への教育研究に十分対応できる教員組織を整備している。施設・設備面においても、院生室を整備し、設置計画どおり全ての学生に対し専用の机、椅子、パソコン等を確保し環境を整備している。結果、35名の入学者に対して教育研究の質を十分に担保し、設置計画を履行することができている。</p> <p>授業科目は、設置計画どおり必要となる授業科目は全て配置し開講している。教員組織は、設置計画に基づき、必要な専任教員は予定どおり（1名前倒しで）全員就任した。</p> <p>教員の資質の維持向上については、教職員研修委員会において大学の教育研究の根幹となる優先的に実施すべきファカルティ・ディベロップメント（FD）の企画を立案、開催し、教育水準の一層の向上を図っている。</p> <p>研究活動については、社会健康医学研究センターを設置し、静岡県からの社会健康医学研究を受託するなど、研究水準の一層の向上に努めている。</p> <p>施設については、校舎の整備が順調に進み、予定どおり令和4年度から全面的に供用開始した。</p> <p>以上、大学院大学の必要性を十分に踏まえ教育研究活動を行い、さらにその水準を一層向上させるよう努めて大学運営を行っている。</p> <p>(4)</p>	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

＜社会健康医学研究科 社会健康医学専攻＞

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
令和3年4月1日、静岡社会健康医学大学院大学教職員研修委員会規程【参考資料1】を制定し委員会を設置。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
令和3年6月1日、委員会を開催。副学長、研究科長、他教員2名、職員3名が出席。

c 委員会の審議事項等  
活動内容の確認と年間研修計画の確認

② 実施状況

a 実施内容

- ・ アカデミックハラスメント研修会
- ・ 研究倫理研修会
- ・ 情報セキュリティ研修会
- ・ ハラスメント（全般）研修会
- ・ 静岡国民健康保険データベース研修会

b 実施方法  
オンデマンドで実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）  
教員の受講割合は、68.4～100%であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
学生のほぼ100%が社会人であることもあり学生と教員の垣根は低く、次で述べる授業アンケートで浮かび上がった課題等にはすぐに対応し授業、学修環境の改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期  
前期授業の前半と後半、後期授業の前半と後半の4回実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等  
アンケート結果は全教員で共有し、回答が必要なものは該当する教員等が回答を学生に示し改善が必要なものはその都度、改善している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

- a 委員会の設置状況
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開学初年度に当たる令和3年度入試は入学定員10名を上回る47名が受験し19名が合格・入学した。完成年度である令和4年度入試は募集10名に対して35名が受験し、16名が合格・入学した。入学者は全員、既に医療や健康に関する基礎的教育を受け、医療や介護など地域住民の健康を直接サポートしている第一線で活躍し経験を積んできた者である。本学が育成を目指す「社会健康医学の研究を長期かつ継続的に推進し、研究の成果を地域に分かりやすい形で還元する担い手」となりうる人材を確保することができており、設置の趣旨・目的は十分達成できるものと考えられる。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
  - ・令和4年7月 公表予定
- b 公表方法
  - ・大学ホームページ上に公開予定（令和4年9月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・法令で定められた期限内に認証評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内  公表後2～3ヶ月以内  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載  その他（ ） ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。